

リングの中まで お見通し

県工業技術センターに
工業用CTスキャナーを設置

CTスキャナーといえば病院でおなじみですが、この工業用スキャナーを近畿の公立試験場で初めて導入しました。

複雑な形の製品や材料を破壊せずに断面画像が引き出せ、製品や素材の異常などの発見に威力を発揮します。



利用範囲も広く、セラミック、金属の亀裂、接着状態などのほか食肉果实の等級分類、原本の検査、文化財の検査にまで多彩な用途を持つています。先端技術と既存の技術を組み合わせた製品の研究・開発に大きな期待が寄せられています。

今月は新しい時代に向けた県の試験、研究機関を4・5ページで紹介しました。

平成元年度当初予算を可決、
総額四千五百七十五億余万円



二月定例会は、二月二十七日から三月二十四日まで二十六日間にわたって開かれ、平成元年度一般会計三千八百八十三億余万円、特別会計五百七十億余万円、企業会計百二十一億余万円の当初予算議案など八十五議案について審議可決されました。また、知事専決処分報告二件について承認、継続審査となっていた昭和六十二年度決算についても認定されました。

また、任期満了に伴う県選挙管理委員及び同補充員の選挙が行われました。

このほか、「リクルート疑惑の徹底解明」と「政治倫理の確立を求める意見書」及び「関西国際空港全体構想の早期実現に関する要望建議」が議決され、それぞれ政府関係機関に送付されました。

なお、本会議では、二十人の議員が質問を立て、消費税の問題、平成元年度予算と関係する諸問題、関西国際空港やリゾート問題、道路等の整備と交通緩和対策、原発関連の問題、東京・白浜間の航空便の増便と利用確保対策、ゴルフ場等開発の問題、高齢者対策、産業廃棄物処理、同和行政、道路等の整備その他生活、産業、福祉、教育の諸問題等各部門の問題について活発な論議が交されました。以下に、その中のいくつかを掲げてみま

た。(要約抜下さい)
うか。
分配を行つてゐる。特に将来の和

歌山の発展にとって意義の深い空港の建設や、マリーナンティ等のビッグプロジェクトの本格的な事業化を図っている。

県税の伸びが二・八%増と極めて低位にあり、財源面での厳しい状況の中、予算編成にあたっての基本的な考え方はどうか。また消費税導入に伴う本県

基本的考え方としては、第一に交通網の整備、産業基盤の整備のための投資的事業に重点的に財源

空港の建設や、マ
のビッグプロジェ
事業化を図ってい

リーナシティ 第
クトの本格的な
る。

重と国際理解の推進」の四つが骨子となっている。これは、二十二世紀をめざし、社会の変化に自ら

地域においては、他産業との共存の中で施設園芸を核とした高収益農業の展開を、有田地域では、柑

重と国際理解の推進」の四つが骨子となつてゐる。これは、二十二

地域においては、他産業との共存のなかで施設園芸を核とした高収益

の育成」、「基礎、基本の重視と個性教育の進歩」、「文乙三云流の尊

努力していくこととしている。

ているか、特に日の丸、君が代の義務化について考えはどうか。
学習指導要領の改訂については、「心の教育の充実」、「自己教育力の充実」について考へよう。

消費者ニーズに応じた農業生産の再編成に努め、国内外の競争に打ち勝つことのできる産地の形成に向けて、生産者とともに積極的に

「戦後教育の総決算」の意を受けて設けられた「臨時教育審議会」の答申に基づき、「学習指導要領」が改訂されたが、この改訂案はどのように受け入れられたか

であり、自由化、国際化に対応でき
る農業の構造改善に積極的に取り組み、安定した農政の展開を図ら
なければならぬと考えている。

成においても、本県財政に支障が生じていないことを確認することもに、便上値上げの特別監視体制を整え、さらに円滑な転嫁が行われること等を目的とした中小企業等に対する新税制普及を推進する考え方である。

国際化に対応した新しい農業
政策はいかにあるべきか。本題
独自の政策カラーを打ち出して
はどうか。

「山の発展」を実現するための積極的なかつキメ細やかな施策を展開していく考え方である。また、消費税率の問題については、地方公共団体への財政の問題、県民生活への問題、県内中小企業等の経済活動を脅かすようなことにならないかなど、いう点に最も留意を払ってきたと

界の中の日本人として生きるために、
には、我が国の文化や伝統を大切
にすることを教えるとともに、国
旗、国歌を尊重し、日本人として
の自覚を養うことが必要である。
そのことが外国を正しく理解し尊
重することにつながることと考え
ている。

第二は、本県の産業構造の改善、高度化を促進する観点から、リゾート産業の振興、企業立地促進、輸入自由化の影響を受ける農業の構造改善を図るため、新規事業も含め、積極的な施策を講じて いる。さらには健康、福祉、教育、文化

対応できる心豊かな児童生徒の育成を図ることをねらいとしたものであり、特に、個性重視と国際理解の教育を重視したものとして受けとめている。

また、国旗、国歌については、国際社会が到来し、国家間の依存

橋を主体とした高品質果実生産の推進を、また、日高以南の地域では、野菜、花きの施設栽培に加え、梅を重点に振興を図るなど、ふる

大きな夢の持てる、国内外に誇れる和歌山県を実現するよう取り組んでいく。

在宅老人福祉対策の現状と今

在宅老人介護支援の方針はどうか

さらに、バイオテクノロジー等先端技術の導入や新時代に対応できる流通システムの整備を図り、本県独自の知恵を活かした付加価値の高い産品づくりに努めたい。

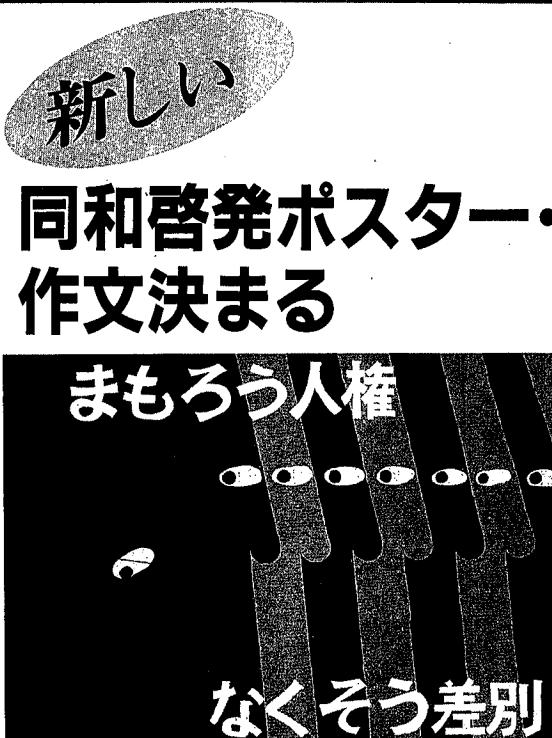
関西国際空港は関西の浮揚と、本県の新たな創造をめざし、官民総力をあげて推進してきた大プロジェクトであるが、新空港がもたらす恩益と、本県の将来の姿について伺いたい。

の姿について伺いたい。

待は、国際化、情報化、臨空圏域化という大きな時代の流れの中で、国際軸にまた国土軸に直結して半島性を解消していく交通基盤の整備であり、また、本県産業構造の高度化、多角化である。

また、本県の将来の姿について
は、空港、道路等の交通基盤の整

新規産業の立地、地場産業の高度化、農林水産業の振興などにより、均衡のとれた産業構造が実現され、また、本県固有の自然や伝統文化を活用したリゾート地として発展した県になるとを考えている。



同和啓発ポスター・ 作文決まる

お年寄りの地域での生活を支援する在宅老人福祉対策の充実は、高齢化の進む本県にとって重要な課題である。その中心を占めるデイ・サービスは現在県下に3カ所、

種の在宅対策の活用普及といふ点についても、民生委員等を通じた対象全世帯への周知、手続きの簡素化について現在検討しているところである。

ホームヘルパーは一三五人、シニアトステイの利用人員は年間約四〇〇人という状況であり、これら

啟發工作文

入選作品

- () 啓発作文入選作品 ()

和歌山市 桐蔭高校 ● 田中範子 「もう学校を訪問して」

● 一ツ田順子 「難聴の私」

橋本市 橋本中学校 ● 金澤直穂美 「現地学習について」

田辺市 田辺第三小学校 ● はし本ちえみ 「なわとびれんしゅう中」

● 淡路谷智美 「がんばれせつちゃん」

● 青山敦子 「『鈴の鳴る道』と出会って」

田辺市 長野中学校 ● 西田 生 「差別について思うこと」

新宮市 千穂小学校 ● 田中香織 「三つの心」

粉河町 長田小学校 ● 前田悠里 「一人一人が楽しいクラスをめざして」

● 那賀町 上名手小学校 ● 茨木一志 「自分がされていやなことは人にするな」

桃山町 荒川中学校 ● 高畠祐巳子 「これから私の生き方」

● 松山宏子 「私のねがい」

貴志川町 中貴志小学校 ● 上富田町 上富田中学校 ● 田上千枝 「今、私のしなければならないこと」

● 松山都糸子 「人権について」

岩出町 山崎小学校 ● 松浦仁美 「友だち」

九度山町 河根中学校 ● 小林佐知子 「未来に向かって」

吉備町 吉備中学校 ● 奥田康博 「『現地学習』について」

● 城山さおり 「人権」

由良町 由良港中学校 ● 乾風里紀 「身のまわりの差別と同和問題」

龍神村 福井小学校 ● 田ノ岡龍太 「頑張れ竜次！」

南部川村 高城小学校 ● 植村映子 「美雪ちゃん」

南部川村 清川中学校 ● 四 由美子 「差別について」

印南町 印南中学校 ● 浦森菜緒子 「部落問題を学習して」

に向けて



皮革は古くから和歌山市の伝統産業。最近は皮の持つ風合いが見直され、その商品は多様化しています。

皮革分場では、政情不安な国からの輸入にたよっている「なめし剤」を使用しないウエットホワイトという新規な技術を開発する必要があります。

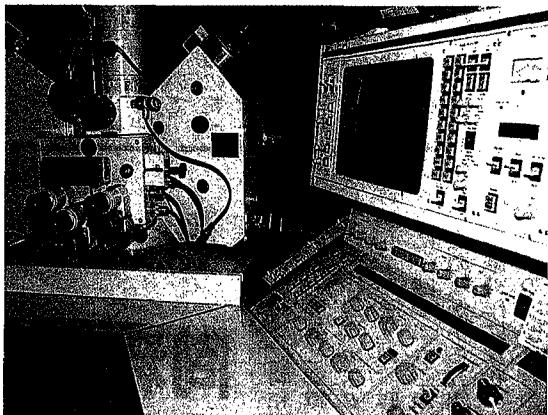
また、『皮は水に弱い』という悩みを解決するため、写真のようないわゆる「なめし」技術を開発しました。新しい皮の用途が広がります。

工業技術センター皮革分場〒640 和歌山市雄松町三丁目三番(0734)23-8520

皮が水をはじいた

新しい伝統を求めて

新しく導入した高倍率の電子顕微鏡



今日、和歌山県内の産業形態は、素材型産業から高付加価値製品の開発型産業に転換されようとしています。

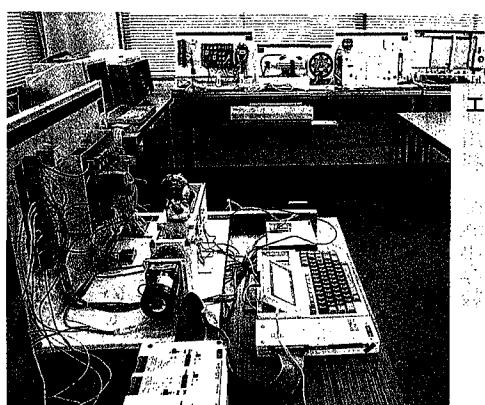
こうした技術の高度化に対応した幅広い技

大正五年に創設された、和歌山市小倉の県工業試験場は、県内の中小企業の技術向上のため、さまざまな分野で独自の試験や研究、技術指導、また企業から依頼を受けた試験研究、製作加工などを行ってきました。

このほか、知識と経験豊かな専門家が、企業に出向いて技術指導する「技術アドバイザリーアイド」があります。気軽にご利用いただけます。

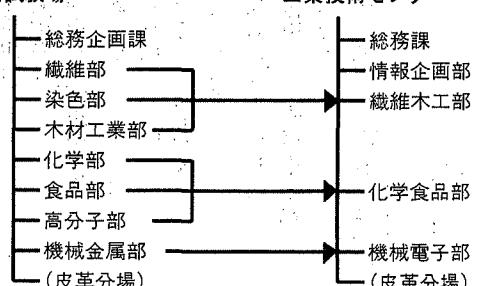
技術支援を行うため、各種の最新鋭の機器を入すると共に、組織を見直し、名称も「工業技術センター」と改めました。そしてまた、異なる業種の企業同士が結びつき、互いの技術や経営上のノウハウを提供し合って、新しい事業を起こし発展の道を切り開こうとしています(「融合化」と呼ばれている)。

さまざまな教材が並ぶ地域融合化促進室



工場試験場

工業技術センター



新時代



人づくりが基本

急激に進歩していく技術や機器。しかし、これらを開発したり、使いこなしていくのは人間です。社会が大きく変動すればするほど、技術を身につけた人が求められます。

このため、昨年田辺高等技能学校にOA経理科を設け、また本年度は和歌山高等技能学校に最新のコンピューターを導入した、情報理工科を設け、従来からあったNC機械科、電子機器科を充実させるなど、産業社会の変化に対応する技能者の育成を行っていきます。写真は、新しく導入した一台のNC機械の指導を受ける新人たち。

和歌山高等技能学校
〒649-162 和歌山市小倉九〇
☎(0734)77-12253
田辺高等技能学校
〒646 田辺市新庄町一七四五一一
☎(0739)22-2259
新宮高等技能学校
〒647 新宮市佐野一三七八
☎(0735)31-7329

漆器には伝統的工芸品と、私たちの生活に密着した大衆商品があります。

伝統的工芸品を守るために、この試験場で八年間のきびしい研修を積んだ若い人たちが、グループ活動を通じ作家として定着。たのもしい後継者となりつづります。

漆器には伝統的工芸品と、私たちの生活に密着した大衆商品があります。

立場にある試験場では毎年、多様化した生産ニーズに対応するため、さまざまな試作品を提案し、商品化されおしゃれな漆器が生まれてきています。

おしゃれな漆器をどうぞ

和歌山県漆器試験場 〒642 海南市船尾二二一六一四 ☎(0734)82-0844

そして、皮の削りくずの中から、コラーゲンというタンパク質を抽出し、手術用の糸やガーゼ、やけど用クリームなどへの用途進出の研究に取り組んでいます。

うです。



西640 和歌山市小松原通1-1 ☎(0734)32-4111

おしらせ

第22回県民文化祭のテーマ

募 集

一点と住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入し、5月31日までに県庁文化振興課へ

※昨年のテーマ「風キラリ 文化キラリ 紀州発！」

受講料 1級=8,000円
2級=6,000円
受付 随時

用紙配布 5月15日～24日
王寺団地（田高郡南部町北道）
3戸 南部町役場

物価タイヤル
消費税に関する物価問題についてお気軽にご相談ください。
県庁生活交通課 ☎(0734)33-14444、消費生活センター
〔南支所〕 ☎(0739)22-1200

ごあんない

対象	教室名	時間	曜日	定員
① 幼稚・児童	3歳児体操教室	14:00～15:00	金	20
	4～6歳児	15:00～16:00	火	25
	小1～2年	16:00～17:00	月	25
	小3～6年	16:00～17:00	火	25
② 成人性	ヘルスアップ	10:00～11:30	月	各25
	ヘルスアップシルバー	10:00～11:30	火	
	リズムダンス	13:30～15:00	火	
	レディースエイト	10:00～11:30	木	
	レディーススイミング	10:00～11:30	金	
	ヘルスアップ	18:30～20:00	月	
	ヘルスアップシルバー	18:30～20:00	火	
	メソズウェイト	14:00～15:30	木	
	アスレティック&スイム	18:30～20:00	木	
	ナイトスイミング	19:30～20:30	土	30

文化の香り高い郷土づくりをめざして、昭和43年から始まった県民文化祭は今年で22回目。毎年9月から12月までの4ヶ月間テーマを設定して行ってきましたが、今年も皆さんからテーマを募集します。

字数 15字以内

応募方法 ハガキ一枚にテーマ

を募集します。

働きながら専門知識を学びませんか。

働くのは応募先へ

くわしくは和歌山技能開発センターキラリ 紀州発！」

で申込先へ

受講料 1級=8,000円
2級=6,000円
受付 随時

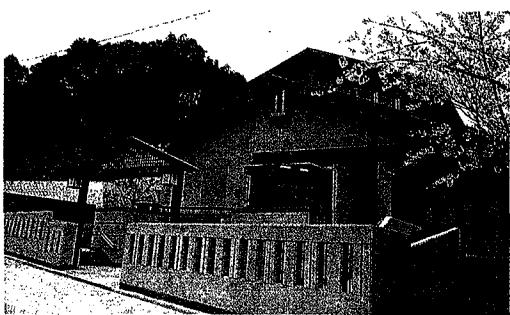
くわしくは和歌山技能開発センターキラリ 紀州発！」

で申込先へ

和歌山技能開発センターキラリ 紀州発！」

で申込先へ

根来寺に新名所 岩出町民俗資料館オープン



新義真言宗の総本山根来寺の境内に、4月9日民俗資料館がオープンしました。

この資料館には、岩出町の吉田や岡田遺跡、県内最古の民家で国的重要文化財の指定を受けている増田家や根来寺関係の遺物が展示されています。

また、三台のパノラマシアターが縄文時代から現代に至る各時代の風俗や人々のくらしづくりを映し出し、目を楽しませてくれる。

開館時間 午前9時～午後4時30分

入館料 大人200円、高大生150円、小中生100円
火曜日休館 ☎(0736)63-1499

(岩出町)

木の香につつまれて

最近各地で木造の建物が見直されていますが、このたび「木材の町・新宮」にふさわしく、地元産のスキヤヒノキをふんだんに使い、アルミサッシと非常階段以外はすべて木造の二階建て。

むき出しの梁(はり)や、玄関の皮をはいだけの柱、総ヒノキ製の机やいすと木の香がたっぷり。一階を幼稚園、二階を小学校六年生が利用。木の香いっぱいの教室で、木の国の子供たちが学びます。

(新宮市)



白良浜拡張に急ピッチ



白良浜といえば白浜温泉のシンボル。石英質の白い砂が広がり、海水浴シーズンには80万人近くの観光客が訪れる。

しかし、近年砂の流出が激しく、年ごとにやせ細ってきました。そこで昭和60年度から本格的な養浜事業に着手。突堤や離岸堤(人工島)を築いて砂の流出を防ぎ、約20万立方㍍の砂を投入し、白いなぎさを長さ610㍍、幅90～100㍍に拡張。

6月末には昔の姿に復元。夏の海水浴はゆったり楽しめそうだ。
(白浜町)

あとがき

• 従来の工業試験場を再編成し、四月から工業技術センターが発足したのを機会に今月号では、商工分野の県の施設を取材、特集しました。新しい技術や知識をいかした力強い地域産業の発展に各職場で幅広い取り組みをしていきます。紙面ではその一端しか紹介できませんでしたが、関心のある皆さんはずひ一度訪れられては……。

• 四月の人事異動で広報担当職員も一部変わりました。県民の方々と県政のパイプ役という広報の基本を忘れずがんばっていきたいと思います。

多方面にわたって事業を興していた森田庄兵衛が新和歌浦開発を考えたのは明治四十年、和歌浦の別荘で静養していた時のことでした。断がい絶壁となって落ち込む山林、波の打ち寄せる奇岩怪石、遠くにかかる淡路島、この絵のような景色を生かした和歌浦開発を思いついたのです。



新和歌浦の生みの親 森田庄兵衛

シリーズ④

心のゆとりと
知識